


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 明和建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																														
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を策定し、朝礼・ミーティング等で周知徹底を図り、社員全員で共有している。												8	9							17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・各現場ごとに車輛運転時の法令遵守指導や、全体ミーティングにおいても社会通念上のルールの徹底指導を行っている。一人一人が社外においても社会生活を送る上で全ての法令を遵守出来るよう、定期的な個人面談において相談・指導をおこなっている。																				16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公共工事を請け負う企業として、公平公正な取引に努め、定期的に、企業が企業として存続し、継続的運営を行う為の基準となる行動規範の重要性を周知している。その周知を徹底する事で、従業員がどのような行動をしていくべきかが明確になり不正競争行為に関与しない意識徹底に繋がっている。仕入先に対し、不当な圧力がないか定期的に確認している。																	10				16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長を全体の責任者とし、各現場においては現場代理人を責任者として、「環境」「品質」「安全」グループを設置し対応している。自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。着工前に施工内容が環境に影響しないか調査し、施工における環境への影響を把握した上で、必要に応じた対策を施している。																					16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・専門家より、知的財産保護に関する講習を受け、講習内容を社内勉強会に於いて周知報告している。これまでに培った技術・経験等の当社の独自技術が社外へ流出しないよう、知的財産保護教育を行っている。商標登録のある可能性のあるものは調べた上で、必要ならば申請を行って使用している。												8.2	8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・重要書類の持ち出し禁止。個人情報等の漏洩になりえる不要書類等はすぐにシュレッダーにかけられるなどし、漏洩防止を徹底している。紙情報は施錠管理し、電子情報へのアクセスパスワードは担当者のみで管理している。ウイルスメール等をこまめにチェックし、従業員へ注意喚起を行っている。																					16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先、従業員、各行政機関等のあらゆるステークホルダーと双方向コミュニケーションを図り、材料や燃料の値上げ情報があった場合や、入札方法の変更または提出書類の変更等があった場合にも適切に対応出来るように努めている。																				16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先や協力会社とコミュニケーションを図り、人権侵害・コンプライアンスの取り組み等の情報交換・認識の共有に共に取り組んでいる。					5																17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																							16	17			
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																								17			
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2												12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、福利厚生、教育、昇給・昇進等のあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している。各種ハラスメントについても、代表者より従業員への周知を行い、何かあった場合でも相談しやすい体制を整えている。				4.3	5.1								8.5			10.2						16.1			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・特定自主検査等で年に1回以上、重機等の点検確認を実施している。各現場ごとに安全協議会を立ち上げ、安全訓練を月に1回実施している。				3										8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員・パート、全ての従業員へ公正な待遇を行っている。						5.5									8.5						10.2	10.3			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の徹底した管理や、雨天時を休みに振り替えることにより、作業の効率化を進め、結果的に労働時間の短縮に繋がっている。働き方改革による業務効率UPを目指し、社員の家事・育児・介護・通院等との両立を手助けしている。				3	5.5										8.5							10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得を希望する従業員の各種研修受講や、資格取得に必要な経費を支給することにより、従業員の学びたい気持ちに応え、能力UPの機会を提供している。						4	5.5								8		9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・自社で健康診断の全額負担を行うことで、従業員が受診しやすい環境づくりをしている。万が一、要再検査になった場合も早急に受診できるよう配慮し、心身ともに健康でいられるような職場環境づくりをしている。								3							8							17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇給等において、人種・性別などの違いによる差別はない。						4.4	5.1	5.5								8.5						10.2	10.3		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・オンライン講習に必要なカメラを購入、積極的にオンライン講習を受講している。テレワークや時差出勤を導入し、県内の感染状況を見ながらすぐ移行できるように準備している。消毒液の設置、換気扇のみでなく窓開け等で定期的な換気を行っている。									3						8		9.1				11	12			
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																		8						9.1		11	12
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																											12

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 明和建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、産廃・リサイクル等の区分分けを適切に行うように、教育を徹底している。産廃マニフェストに基づき、専門業者に委託し、適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力、ガソリンについて使用量を記録している。簡易計算シートにより使用量を算出し、同じ現場で作業する者同士、乗り合わせて現場に向かうようにする等、電力やガソリンに無駄な使用がないかを常に確認している。休憩時間や席不在の際は、消灯を励行しており、併せてエアコンの温度設定を事務所にいる者でこまめに管理している。								7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートにより排出量を把握し、排出抑制に取り組んでいる。事務所の窓には日射調整フィルムを貼付。西日の強い窓には壁面緑化を2022年5月に設置している。合わせて節電節水も徹底することで、事務所内の空調温度を安定させることが可能になり、温暖化対策に繋がっている。アイドリングストップなど、全社員にエコドライブを周知している。【予定】2022年6月に国土交通省排出ガス対策型のバックホーを購入予定。			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4		13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・買い物に出る際、誰でも使用できるように、事務所にエコバックを常備して、廃プラやレジ袋削減に努めるように意識を共有している。河川工事に於いて、河床掘削工事を行う際、濁りの発生を抑える為、汚濁防止等で対策し、生態系等の環境に悪影響を及ぼさないように、万全な対策を行っている。							6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務所、現場事務所においてゴミの分別の徹底している。ペットボトルキャップの収集を令和4年4月より実施している。裏紙を社内印刷やメモ帳として使用し、3Rに取り組んでいる。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・掃除に使用したバケツの水を、樹木やプランターの水やりに使用したり、出しっぱなしにせず、必要なだけ出す等、熊本の素晴らしい水資源の保全に取り組むべく、こまめな節水を全従業員で心掛けている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コピー用紙は、グリーン購入法総合評価値80の再生紙利用を推進しており、できる限りリサイクル製品を使用している。										9.4		12.4 12.5		13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・事務所内で使用するお茶やお茶菓子、社内の冷蔵庫の飲食物は、担当者がこまめに賞味期限を管理し、冷蔵庫に賞味期限を記入した一覧表を貼り付けて管理している。また、社内ですす茶菓子やおつまみ品を優先的に購入し、身近なところから食品ロスの削減に取り組んでいる。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・自社敷地内の植栽や、各現場事務所に季節の花を植えたプランターを設置し、緑化に取り組んでいる。また、西日の強い窓に壁面緑化を施すことでエアコンの使用減に繋がるよう、2022年5月より管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・社内でもエコバックの常用、マイコップ・マイ箸の使用を推進し、プラスチック使用削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・各現場ごとに品質証明員を認定し、工事の各段階において、材料検収を含め、品質安全性を確認している。											9								12.4														
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社内広報等のお知らせは、障がい者、高齢者を含めた誰もが見やすいフォントで制作し、スムーズな情報伝達が出来るようにしている。階段には手すりを設置し、事務所内はコードに引っかからないよう、カバーをつけて動きやすい環境の整備を行っている。現場に設置する注意看板には誰もが一目で理解できるように、大きなフォントや絵で分かりやすい表示を心掛けている。												9.1	10	11.7														17					
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・現場で使用する道路側溝、マンホール本体、L型擁壁、間知ブロック等の二次製品について、熊本県産の原材料を積極的に使用している。																		2.3 2.4											17				
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●																																		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																																		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																																		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県・御船町とボランティア活動協定を結び、地域清掃活動等にも積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを設置、従業員に周知を徹底し、災害時等の緊急時にも出勤できるよう体制を整えている。																																	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5																															
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●																																		
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・職場体験、インターンシップを積極的に受け入れ、建設業協会上益城支部や他企業と共に、高校生の現場見学や重機体験を行っている。																																	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4																												
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					2																													